

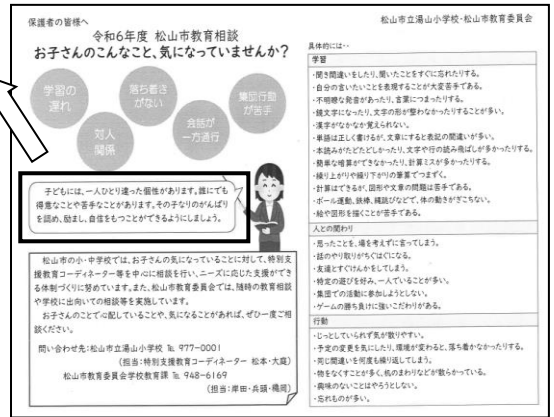


## 一人ひとりの子どもたちが輝くために

特別支援教育主任 松本幸一

「子どもには一人ひとり違った個性があります。誰にでも得意なことや苦手なことがあります。その子なりの頑張りを認め、励まし、自信をもつことができるようにしましょう。」

これは、保護者の皆様に5月20日に配付しました松山市の教育相談のパフレットの中の一文です。周囲からの理解や対応が適切でないとき、非難されたとか怒られたという思いばかりが失敗経験として心に積み重なってしまい、やる気がわいてこなかったり、自分に対して否定的になってしまったりすることがあります。保護者も教師も子どもの幸せを願う気持ちは同じです。互いに情報を共有してお話することで心に余裕ができたり、いいアイデアが浮かんだりするものだと思います。本校には2名の特別支援教育コーディネーター（松本・大庭）がいます。相談したいことがあるときは、年間を通じていつでもご連絡ください。



「お子さんのこんなこと、気になっていませんか?」(湯山小・市教委)

### <支援の手立ての例（「特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援」 愛媛県教育委員会）>

作図をすることが苦手

- ➡滑りにくい定規や、メモリが見やすい分度器などを試しながら、児童が一番使いやすい道具を使うようにする。
- ➡道具の使い方をイラストや写真、動画などで確認してから、作業に取りかかるようにする。

### 【遠足・家庭科・修学旅行の感想】

1年生	とおいけど、がんばってあるきました。ともだちといっしょにおべんとうやおやつをたべて、たのしかったよ。ゆうぐやなわとびやどっじぼうるであそんで、おもしろかったよ。
2年生	うんていやすべりだいでたくさんあそびました。むしさがし的时候には、だんごむしをたくさん見つけることができました。おべんとうもおいしくて、とてもたのしかったです。
3年生	道後公園に行きました。てんぼう台に登ると、松山城やくるりんが見えました。公園では、ジャングルジムやシーソーであそびました。たくさん歩いてつかれたけれど、とても楽しかったです。
4年生	市之井手浄水場を見学して、働いている人や施設の機械のおかげで、毎日安全でおいしい水が飲めるんだと思いました。体験コーナーは、いろいろな体験が友達とできてすごく楽しかったです。
5年生	家庭科の調理実習で、ゆで野菜サラダを作りました。ゆで具合をチェックするのはむずかしかったけれど、自分一人で作れてとてもうれしかったです。家でも、家族に作ってあげたいと思います。
6年生	広島市の平和資料館を見ながら、戦争の悲惨さを学びました。その後は、宮島やホテル、マツダミュージアム、みろくの里などに行きました。どれもすてきでかけがえのない思い出となりました。
さきのこ	修学旅行で心に残ったのは、みろくの里のダイナソーパークです。宮島水族館で見た「海にすむ巨大カタツムリ」も手のひらより大きくてすごかったです。とてもよい思い出になりました。